

## 5 地域別指数の動き

### (1) 都市階級別指数

都市階級別の総合指数について前年比をみると、小都市Bで0.5%の上昇、町村で0.4%の上昇、大都市、中都市及び小都市Aで0.2%の上昇となり、すべての都市階級で上昇となった。

これを10大費目別にみると、食料、光熱・水道、被服及び履物、教育及び諸雑費はすべての都市階級で上昇となった。一方、家具・家事用品、保健医療及び教養娯楽はすべての都市階級で下落となった。(表22)

表22 都市階級，10大費目別の前年比

都市階級	総合	生鮮食品 を除く 総合	食料・I補 給を除 く総合*	食料	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事用品	被服及び 履物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全国	0.3	0.1	-0.4	0.5	0.0	3.6	-2.1	0.8	-0.6	0.3	0.7	-1.5	0.9
大都市	0.2	0.0	-0.3	0.6	0.0	2.6	-2.5	0.7	-0.5	-0.1	0.6	-1.2	1.0
中都市	0.2	0.1	-0.4	0.5	-0.1	3.2	-2.1	1.1	-0.7	0.3	0.7	-1.5	0.9
小都市A	0.2	0.1	-0.4	0.3	0.1	3.5	-1.6	0.7	-0.5	0.3	0.6	-1.6	0.7
小都市B	0.5	0.3	-0.5	0.4	-0.1	5.3	-1.7	0.9	-0.6	0.7	0.3	-1.3	0.9
町村	0.4	0.2	-0.6	0.5	-0.1	5.0	-2.3	0.6	-0.6	0.8	1.0	-2.0	0.8

\* 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合

注) 都市階級は平成12年10月1日現在の人口による。

大都市：政令指定都市(静岡市を除く。)及び東京都区部

中都市：人口15万以上100万未満の市及び静岡市

小都市A：人口5万以上15万未満の市

小都市B：人口5万未満の市

(2) 地方別指数

地方別の総合指数について前年比をみると、沖縄以外の9地方で上昇となった。このうち、原油価格の高騰により値上がりした他の光熱のウエイトが大きい北海道が0.6%の上昇と、最も大きい上昇となった。沖縄は前年と同水準となった。

これを10大費目別にみると、光熱・水道，交通・通信，教育及び諸雑費はすべての地方で上昇となった。一方，家具・家事用品，保健医療及び教養娯楽はすべての地方で下落となった。（表23）

表23 地方，10大費目別の前年比

地 方	総 合	生鮮食品 を 除 く 総 合	食料・エネルギー を 除 く 総 合*	食 料	住 居	光 熱 ・ 水 道	家 具 ・ 家 事 用 品	被 服 及 び 履 物	保 健 医 療	交 通 ・ 通 信	教 育	教 養 娯 楽	諸 雑 費
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全 国	0.3	0.1	-0.4	0.5	0.0	3.6	-2.1	0.8	-0.6	0.3	0.7	-1.5	0.9
北 海 道	0.6	0.4	-0.6	0.3	-0.3	8.0	-0.3	-1.4	-0.2	0.9	0.2	-2.2	1.5
東 北	0.5	0.3	-0.7	0.4	-1.2	6.7	-2.6	1.1	-0.6	0.9	0.4	-1.2	0.7
関 東	0.3	0.1	-0.3	0.7	0.2	3.1	-2.1	0.9	-0.5	0.1	0.7	-1.4	1.0
北 陸	0.2	0.1	-0.5	0.0	0.2	3.9	-3.7	2.1	-0.5	0.5	1.1	-1.9	1.0
東 海	0.4	0.2	-0.3	0.5	0.7	3.4	-2.0	0.3	-0.6	0.6	0.6	-1.3	0.5
近 畿	0.1	-0.1	-0.5	0.5	-0.4	1.9	-1.7	1.1	-0.9	0.1	0.5	-1.4	1.2
中 国	0.3	0.1	-0.5	0.1	0.2	4.4	-2.1	1.4	-0.3	0.6	0.5	-2.0	0.3
四 国	0.1	0.0	-0.6	0.1	0.0	4.3	-2.1	-0.5	-0.7	0.4	1.2	-2.0	0.9
九 州	0.1	-0.1	-0.6	0.6	-0.3	3.1	-2.5	0.9	-0.7	0.4	1.2	-1.9	0.6
沖 縄	0.0	-0.1	0.8	-0.3	0.0	3.8	-2.5	-1.2	-1.0	0.2	0.7	-1.8	1.0

\* 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合

(3) 都道府県庁所在市別指数

都道府県庁所在市別の総合指数について前年比をみると、29市で上昇，5市が前年と同水準，13市で下落となった。

これを10大費目別にみると，全国平均で最も上昇幅が大きかった光熱・水道は，15市が全国平均(3.6%)を超える上昇となり，このうち，原油価格の高騰により値上がりした他の光熱のウエイトが大きい青森市が7.5%の上昇と最も大きな上昇となった。一方，全国平均で最も下落幅が大きかった家具・家事用品は，27市が全国平均(-2.1%)を超える下落となり，このうち熊本市が7.1%の下落と最も大きな下落となった。（表24）

表24 都道府県庁所在市，10大費目別の前年比

都道府県庁所在市	総合	生鮮食品を除く総合	食料・エネルギーを除く総合*	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教娯	養楽	諸雑費
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全国	0.3	0.1	-0.4	0.5	0.0	3.6	-2.1	0.8	-0.6	0.3	0.7	-1.5	0.9	
札幌市	0.2	0.0	-0.7	0.2	-0.3	6.2	-0.6	-1.8	-0.6	0.5	0.2	-2.6	1.5	
青森市	0.2	0.0	-1.1	-0.1	-0.6	7.5	-6.2	-2.1	-0.3	0.4	0.5	-1.5	0.4	
盛岡市	0.9	0.8	0.0	0.6	0.8	6.3	-0.2	0.7	-0.2	0.5	0.4	-0.1	-0.2	
仙台市	0.3	0.1	-0.4	0.3	-1.0	4.7	-2.0	4.2	-0.8	0.6	0.4	-1.1	0.9	
秋田市	0.2	0.2	-0.9	0.3	-0.4	6.4	-3.3	-1.4	-1.6	1.3	1.7	-1.6	0.2	
山形市	0.9	0.4	-0.3	1.9	1.3	4.8	-4.8	-0.7	0.3	0.7	0.8	-1.4	0.7	
福島市	0.2	0.3	-0.4	-0.5	0.2	4.7	-2.4	0.0	-1.3	0.9	0.4	-1.2	0.3	
水戸市	0.3	0.0	-0.5	1.0	0.2	3.9	-3.3	-0.6	-0.6	0.2	0.6	-1.0	0.4	
宇都宮市	0.0	-0.2	-1.0	1.0	-1.2	2.9	-1.8	0.5	-1.4	0.6	1.0	-2.6	1.8	
前橋市	0.0	-0.2	-0.8	0.8	-0.6	2.4	-6.6	2.4	0.0	0.7	-0.4	-1.8	0.9	
さいたま市	-0.1	-0.3	-0.5	-0.1	0.0	3.4	-3.6	0.4	-0.7	-0.2	1.1	-1.7	0.4	
千葉市	0.3	0.0	-0.4	1.0	-0.1	3.2	-3.8	2.9	-0.1	0.3	0.5	-1.6	0.4	
東京都区部	0.1	0.0	-0.2	0.4	0.1	2.2	-1.9	0.7	-0.6	-0.4	0.6	-0.8	0.9	
横浜市	0.4	0.3	-0.1	0.9	0.4	2.6	-3.4	1.2	-0.4	-0.1	0.4	-0.7	1.4	
新潟市	0.4	0.2	-0.1	0.1	0.4	3.6	-6.8	5.9	-0.3	0.4	0.6	-1.2	1.2	
富山市	-0.2	-0.3	-0.9	-0.1	0.2	3.7	-5.2	0.4	-2.3	0.6	0.2	-2.3	0.9	
金沢市	-0.3	-0.5	-1.0	0.0	-3.0	2.6	-4.8	4.0	0.6	0.3	1.3	-1.0	0.9	
福井市	0.3	0.1	-0.9	-0.9	-0.6	3.3	-0.5	0.2	-0.5	0.2	1.2	-2.7	0.4	
甲府市	0.1	-0.1	-0.4	-0.4	-0.1	3.4	-1.8	2.4	-0.9	0.3	0.9	-1.2	0.8	
長野市	0.8	0.6	0.0	0.0	1.1	3.9	-1.9	1.3	-0.3	0.6	0.4	-1.2	0.4	
岐阜市	0.7	0.6	0.2	0.2	2.2	2.8	-2.7	0.8	-0.6	0.7	0.8	-1.2	0.3	
静岡市	-0.5	-0.7	-1.6	-1.6	-3.3	3.1	-3.0	-1.2	-0.9	0.6	-0.4	-1.3	0.7	
名古屋市	0.2	0.1	-0.3	-0.3	1.1	2.6	-2.8	-0.6	-0.6	0.2	1.1	-1.9	0.3	
津市	0.2	0.1	-0.4	-0.4	0.0	0.7	0.1	1.9	-0.1	0.9	1.9	-1.6	0.7	
大津市	0.4	0.2	-0.3	-0.3	0.2	1.9	-1.5	0.1	-0.5	0.7	1.3	-1.6	0.8	
京都市	-0.1	-0.3	-0.9	-0.9	-1.6	1.7	-2.6	-0.1	0.1	-0.1	1.0	-1.9	1.9	
大阪市	0.1	-0.1	-0.6	-0.6	0.1	1.4	-2.7	0.4	-1.4	-0.7	0.4	-1.8	1.2	
神戸市	0.0	-0.3	-0.8	-0.8	-2.0	1.4	-1.4	1.4	-0.1	-0.3	0.3	-0.4	0.8	
奈良市	-0.3	-0.5	-0.7	-0.7	-0.3	1.6	-1.2	-1.8	-1.1	0.3	-0.3	-1.8	2.0	
和歌山市	0.3	0.2	-0.2	-0.2	0.2	2.3	-2.4	0.1	-0.8	0.4	0.4	0.0	1.2	
鳥取市	-0.4	-0.5	-0.9	-0.9	-0.5	4.4	-2.4	2.2	-0.4	-0.1	0.7	-1.3	-2.3	
松江市	0.5	0.4	0.2	0.2	1.8	3.6	1.3	2.1	-0.1	0.1	0.8	-1.6	0.3	
岡山市	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	4.1	-0.9	2.8	-0.3	0.2	0.4	-0.2	1.2	
広島市	0.2	0.2	-0.2	-0.2	0.7	3.2	-2.4	1.6	-0.4	0.5	0.4	-1.4	0.5	
山口市	-0.1	-0.2	-1.2	-1.2	-0.7	3.1	-2.2	1.2	-1.0	0.8	0.3	-3.0	-0.7	
徳島市	-0.4	-0.4	-1.0	-1.0	-0.6	2.8	-2.0	-0.2	-0.7	0.3	0.6	-2.9	0.5	
高松市	0.0	0.0	-0.5	-0.5	0.8	2.8	-3.7	-0.2	-1.0	0.4	0.4	-1.2	0.6	
松山市	0.2	0.1	-0.5	-0.5	-0.4	3.6	-1.7	1.3	-0.3	0.3	1.6	-1.3	0.7	
高知市	-0.3	-0.2	-0.9	-0.9	-1.0	4.0	-0.1	-2.9	0.0	-0.3	2.0	-1.3	0.5	
福岡市	0.1	-0.1	-0.3	-0.3	0.3	2.0	-2.1	0.4	-0.8	-0.2	0.7	-1.2	1.4	
佐賀市	0.1	0.1	-0.4	-0.4	0.5	4.1	-5.2	2.4	-0.9	0.7	0.1	-1.1	0.3	
長崎市	-0.2	-0.4	-1.0	-1.0	-1.5	1.5	-0.7	1.0	-0.4	-0.3	0.4	-2.8	1.0	
熊本市	0.0	-0.2	-0.9	-0.9	-0.3	4.0	-7.1	-0.4	-0.8	0.2	0.3	-2.7	0.8	
大分市	0.3	0.1	-0.3	-0.3	1.1	2.2	-2.9	1.4	-0.8	0.1	0.4	-2.4	0.8	
宮崎市	-0.2	-0.4	-0.9	-0.9	0.0	1.3	-2.3	0.5	-0.8	0.4	0.6	-1.5	-2.4	
鹿児島市	0.1	0.0	-0.4	-0.4	0.4	2.0	-0.8	1.4	-2.2	0.1	0.6	-1.7	1.0	
那覇市	-0.2	-0.3	-0.8	-0.8	0.2	3.5	-3.5	-1.6	-0.8	0.1	0.5	-1.9	0.5	
川崎市	0.3	0.2	-0.2	-0.2	0.5	2.4	-2.1	1.0	-0.1	-0.2	1.1	-2.1	0.9	
北九州市	0.1	-0.2	-0.5	-0.5	-0.1	2.0	-4.4	0.1	-0.6	0.4	1.0	-0.9	1.5	

\* 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合